

ねがたびと

題字：降矢玄龍先生

発行日 令和8年3月5日

発行者 根形交流センター

(根形公民館)

根形の人口 5,652人
2,575世帯
(2/1時点)

二十歳を祝う会を開催！！

令和8年1月11日(日)根形地区二十歳を祝う会を根形交流センターにて開催しました。当日は、34名の二十歳や保護者、恩師、来賓等が出席し、厳粛な中にも心温まる式となりました。

式典終了後の記念行事では、二十歳を祝う会実行委員の企画・運営により、出席いただいた恩師からの祝辞、ビンゴ大会、保護者も交えた交流会および集合写真の撮影を行い、小・中学校時代を懐かしみながら旧交を温めていました。また、青少年相談員に設置いただいた撮影用スポットで、友達同士や保護者と一緒に笑顔で撮影している姿が印象的でした。以下に、二十歳代表の言葉(抜粋)を掲載します。ご一読ください。

私達が根形中学校を卒業してから5年という月日が経とうとしています。振り返ってみると、ふざけて笑い合った何気ない出来事ばかりが思い出されます。今よりも自分の行動に責任が伴わなかった分、目の前のことだけに熱中することが許され、自分にとっての楽しさを全力で追求していたあの日々、あの瞬間は私たちの人生においてかけがえのない時間だったと思います。私たちが思う存分羽を広げることができたのは、先生方が私たちの挑戦を後押しし、周りの人に迷惑をかけた時には厳しく指導して下さることが無自覚ながらわかっていただけたからだと思います。先生方の言葉の真意が理解できず、時には反発することもあるかと思いますが、どんな時も私たちのことを第一に考え成長へと導いてくださいました。そんな素敵な先生方と本日晴れやかな姿で再開できることができ、心より光栄に存じます。

今の私にとっての幸せは、将来に希望をもって前進することです。中学校、高校と私には受験に合格する、部活でよい成績を残すなど、目標が当たり前のようになり、ただひたすらに努力してきました。しかし、いざ大学に進学していざ自分の将来と向き合うとなると、目標を見つけるのは意外と簡単ではないのだと気づかされました。好きなことや将来どう在りたいかなどを様々に照らし合わせ、最近になってようやく、将来の夢と呼べるものが見つかりました。今は、目標に向かって前進できることに最大限の喜びを感じています。それと同時に、私がただ私として存在しているだけで受け入れてくれる周囲の人々の存在が、非常に大きな原動力になっていることに気づきました。ありのままの自分を受け入れ、そばにいてくれる家族や友人の存在が、失敗を恐れずに挑戦する勇気を私に与えてくれます。

私のこれまでの20年を振り返ると、楽しいことよりも辛く苦しいことの方が圧倒的に多かったと思います。それでも私が今ここに立てているのは、自分の弱さを受け入れ、時には信頼する仲間を頼ることができるからです。周囲の人々を大切にしながら、これからも前に突き進んでいく決意をここに表明いたします。

二十歳代表 桐谷 真央 さん
※二十歳代表の言葉より抜粋

二十歳を祝う会 フォトメモリアル



記念パネルの前で写真撮影



おめでとうございます



記念行事(恩師と一緒に)

袖ヶ浦市二十歳を祝う会



二十歳代表挨拶の
桐谷真央さん

令和8年 二十歳の皆さん



司会進行の
宮田 鳳牙さん・鍋川 咲樹さん

ねこまろ スタッフ募集中!

ねこまろがスタートして早12年。
これまで通常版の他、宿泊体験やクリスマスパーティー、ハロウィンパーティー、ペットボトルロケット、陶芸体験等の特別版も実施してきました。これらの企画・運営にあたっては、N.O.C(大学生を中心とした若者のグループ)メンバーが大いに活躍しています!地域子ども達との体験活動をともにしてみませんか?

現在、N.O.Cメンバーを募集しています。興味関心のある方は、根形公民館に遠慮なくお問い合わせください。

サークル作品展を開催します!



3/14(土)~

3/22(日)



根形公民館で活動している「陶芸」、「絵画」、「書道」のサークルや公民館講座の教室生による作品展を多目的ホールにて開催します。技術と感性を磨いた1年間の創作活動の集大成は見応え充分!ぜひ足をお運びください。

※時間 午前9時~午後4時

根形中学校で防災学習会を開催しました！

12月2日（火）午後、根形中学校全生徒を対象に、中学校と根形公民館共催による防災学習会を開催しました。「地域の一員として、中学生のできる防災活動」をテーマに、前半は、市役所防災安全課の職員が講師となり、自然災害の恐ろしさやその対策、避難方法、さらに袖ケ浦市・根形地区の災害リスク・避難所等について体育館で学習を深めました。

その後、学年別に分かれて、1年生は避難所で設営するベッドやパーテーション作りを、2年生は袖ケ浦市消防本部の指導による心臓マッサージの基本・AEDの活用法を、3年生は避難所生活において必要な火おこしと消火活動（水の消化器を使用）をそれぞれ体験しました。

生徒たちは、真剣なまなざしで講話に耳をかたむけ、体験活動に取り組みました。令和3年3月に政府の地震調査委員会から、今後30年以内に震度6弱以上の激しい揺れに襲われる確率は、千葉市で62%と高い数値が示されるなど、千葉県では大地震が起こりうる状況にあります。この「防災学習会」での体験が、いつか、どこかの場面で活かされ、将来の実生活に何らかの形で役立ってくれることを期待します。

ベッド・パーテーション作り



心臓マッサージ・AED



火おこしと消火活動



書き初め教室を開催しました！



12月25日（木）午前、根形交流センター視聴覚室にて、書き初め教室を開催しました。当日は、根形公民館で活動している降矢玄龍先生と書道サークル「望陀書友会」の会員6名の方の指導のもと、根形小学校の3～6年生の児童12名が書き初めに取り組みました。

子どもたちは冬休みの課題として出された書き初めに真剣な眼差しで取り組み、講師のアドバイスをしっかり受けて、書く枚数を重ねるごとに上達していきました。

およそ1時間30分で書き上げた作品の中から、優れた作品を先生に選んでいただき、名前を書いて完成させました。どの作品も秀作でした。



根形歴史さんぽ 巡礼の道

郷土博物館 稲木章宏

根形地区東側には、南北を貫く古い道があり、木更津市矢那の坂東三十番札所高蔵寺へ向かっています。この道は通称「巡礼街道」、あるいは「巡礼道」と呼ばれ、鎌倉の杉本寺を一番に、関東を時計回りで巡る坂東観音霊場の信仰の道でした。かつては多くの人々が行き交っていましたが、今は昔ながらの道のほとんどが消え、街道脇に遺された道標に往時が偲ばれるのみとなっています。



上の写真は市内滝の口と木更津市笹子の境を通る巡礼道ですが、かつてはこのような風景が続いていたと思われます。巡礼道は市原市椎津から、まっすぐ南に最短で高蔵寺に向かう道でした。瑞安寺付近で房総往還と分かれ、椎津新田、上久保田不渡堰から上蔵波へ、そして根形の鎌倉街道に出ていきます。野田、大曾根と進んだ後、木更津市の神代、上望陀を通り、下望陀で渡船、大鳥居から滝の口の尾根伝いに高蔵寺へ向かいます。

では根形に遺る巡礼道の道標をご紹介します。下は鎌倉街道の野田側の道標です。子どもと両親と思われる人の供養のため造立されています。これと、ほぼ同様のものが 100mほど東にも



「南
右たかくら道」
「西
地蔵菩薩立像(爲三人の戒名)」
「北
ちばみち願主 小曾根村」

あります。どちらも「小曾根(大曾根)村」の造立ですが、残念なことに年号を欠き造立年が不明です。

次は道の反対、大曾根側にある道標です。こちらにも年号がありません。右の新しい道標は大正10(1921)年に根形村大曾根青年団によって造

「南
たかくら道」
「地蔵菩薩坐像 南無阿弥陀佛」
「北
ちば道」
施主金右門



立されたもので、姉崎駅や県道、下新田などを案内しています。青年団活動が盛ん

だった大正から昭和にかけて、各地でも同様な道標がたくさん造立されています。それは、昭和になっても、まだ徒歩による移動が多かったことを教えてくれているのです。

ここから大曾根集落へ下ると、小字後畑に「此方 ちばでら」「八王子」と刻まれた道標があります。「八王子」とは野田神社を指しています。この道標から道なりに進んだ小字堀の内の角に文化6(1811)年造立の馬頭観音(左下)が建ち、「南たかくら道二り半」「北ちばでら道六り」と距離も併せて刻まれています。続く大曾根公民館の敷地には、宝永元(1704)年の六地藏(右下)が「小曾根村念佛講、村中、北表女中」によって建てられ、「北ちば道六里」、「西たかくら道二り半」ほか「東くろり四り」と道標銘が刻まれています。



近くにある道標を見ながら歩いてみるのも面白い歴史さんぽとなり楽しめます。